

第5期会員交流会開催報告(3月)

3月26日(月)、電気機械グループの第5期第8回会員交流会をパナソニック OBP ビルで開催しました。今回は「係争」をテーマに、板谷弁理士をリーダーとして、参加者それぞれの実体験に基づいた事象を中心に議論を進めました。板谷リーダーをはじめとする弁理士の方々、経験豊富な大企業の知財部の方々、中小企業の知財メンバーの方々、総勢13名によって、板谷リーダーの企業に在籍されていたころの体験を皮切りに、弁理士の方々の豊富な「係争」経験に基づく、実態や課題、対策などが紹介された後、各企業会員さんたちの事例に関して活発な意見交換がなされました。次回は5月24日(木)に、同じくパナソニック OBP ビルにて「知財契約」について、話し合われます。

翌3月27日(火)には、同じくパナソニック OBP ビルで化学材料グループの第9回会員交流会が催されました。謝リーダー弁理士のもと15名の会員が集まり、「調査と係争」という広範なテーマで、国内・海外での係争、敗訴で得られた教訓から調査ツールに関する評価など、幅広い話題に対し、広範な角度からの意見交換が実施されました。次回は5月28日(月)にパナソニック OBP ビルで「知財取引」についてのディスカッションが行われます。

※会員交流会に参加ご希望の方は当協会事務局までご連絡をお願いします。

TEL 06-6479-1926(企画サービス G 直通) members@jiiosaka.jp

知財塾 2017 ～講義とディスカッションで楽しむ90分～ 第6回開催

大阪発明協会では、今年度の会員サービスの一環として「知財塾 2017」と銘打った勉強会を特許業務法人深見特許事務所の協力のもと年間6回開催の最終回ということで、第6回は「事例で学ぶ、進歩性拒絶に対する反論のポイント」をテーマに、深見特許事務所電気情報第3部長の中田雅彦弁理士に担当していただきました。

年間最後の締めくくりに対応しく初参加の人も含めて22名参加の大盛況で、場所も移転直後の深見特許事務所の新オフィス、特許の拒絶通知に対するアクションの2つのケースのうちの与えられた一つを、少人数でディスカッションしました。初心者にはやや難易度の高いテーマでしたが、丁寧な説明・指導により、アクションの流れを実感することのできる有意義な塾となりました。一年を通じて、協力いただいた深見特許事務所さんに大きな賛辞を送りたいと思います。

次年度は意匠にテーマを絞り、「意匠道場 2018」ということで、装いも新たに年4回シリーズとして開催予定です。

